

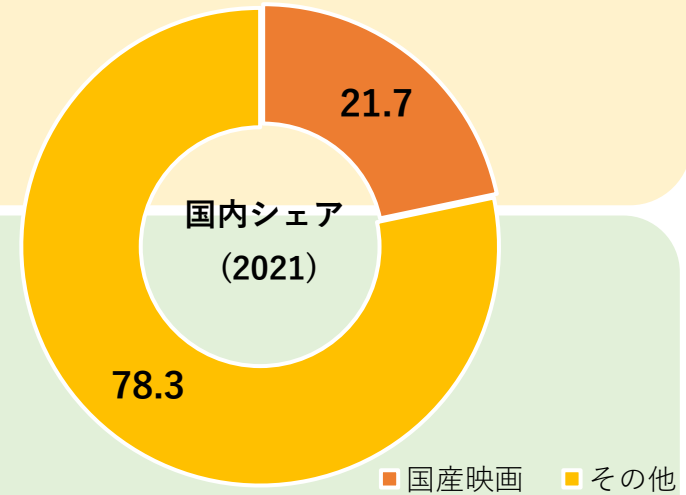


映画産業

- ・興収規模は世界10位、スクリーン数は世界8位
- ・映画製作本数は250本前後、コロナ禍で150-180本程度に落ち込むもそのうち30-40%が国際共同製作である

国内市場

- ・本国映画の興行収入は21-27%程度
- ・興行収入の上位はハリウッド映画が占める
- ・興行収入、動員数共に減少傾向、公開作品数は増加



市場データ (2021年)

・国内興行収入:	3.73億ユーロ	(2019年: 10.2億ユーロ)
・国内の劇場動員数:	0.421億人	(2019年: 1.186億人)
・国内のスクリーン数:	4,931	(2019年: 4961)
・平均チケット価格:	8.9ユーロ	(2019年: 8.6ユーロ)
・一人あたりの年間平均入場回数:	0.5回	(2019年: 1.4回)
・マーケットシェアにおける国産映画の割合:	21.3%	(2019年: 21.5%)
・映画製作本数:	185本	(2019年: 265本)

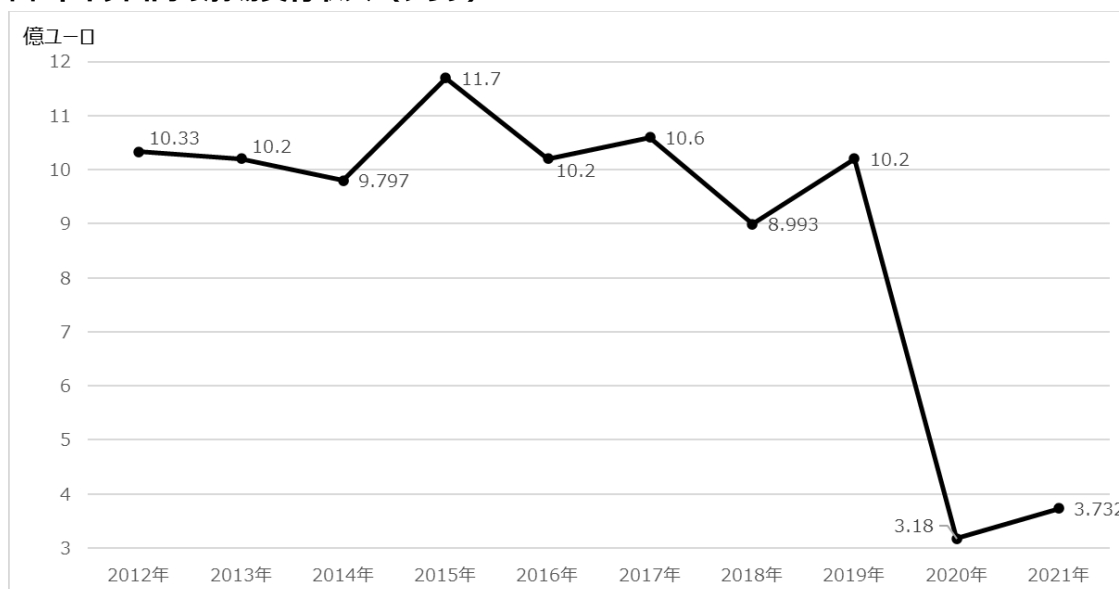
*100%国産 = 118本、国際共同製作 = 67本

ドイツの国内市場規模

1. 興行収入 (2012-2021) ¹

* 欧州の中では興行収入が伸び悩み 2021 年は大きく落ち込んだ 2020 年から微増し世界第 10 位。

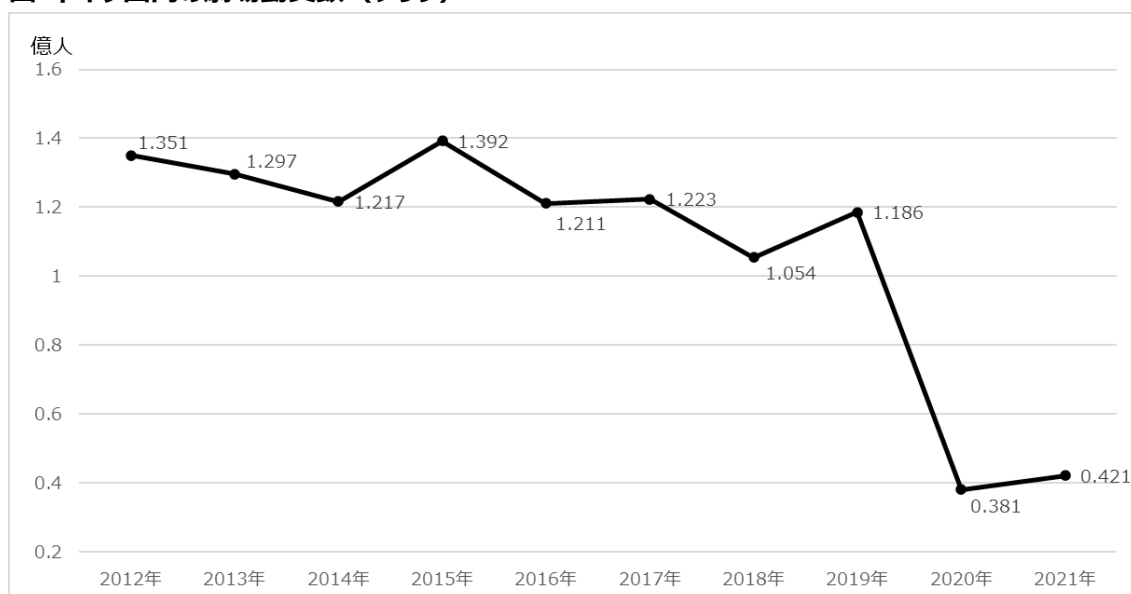
図 ドイツ国内の劇場興行収入 (グラフ)



2. 動員数 (2012-2021) ²

* 1.2 億人前後を推移していたが、2021 年は 4 割まで回復。

図 ドイツ国内の劇場動員数 (グラフ)



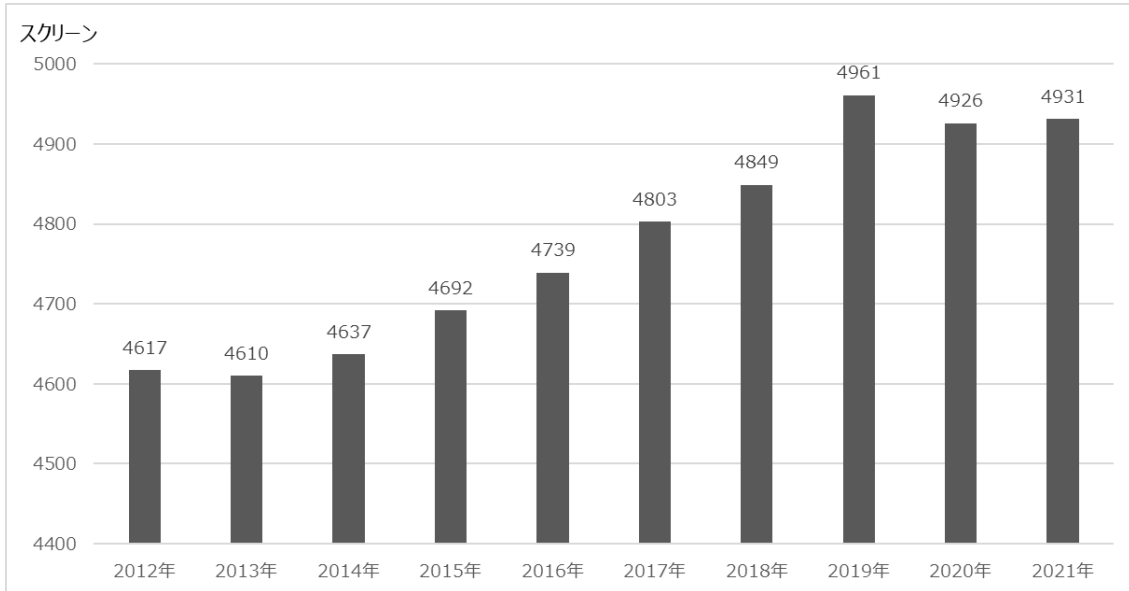
¹ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成

² 同上

3. スクリーン数（2012-2021）³

*スクリーン数は一時減少したが、デジタル対応スクリーンの増加で持ち直し、現在は5000程度。全世界8位。

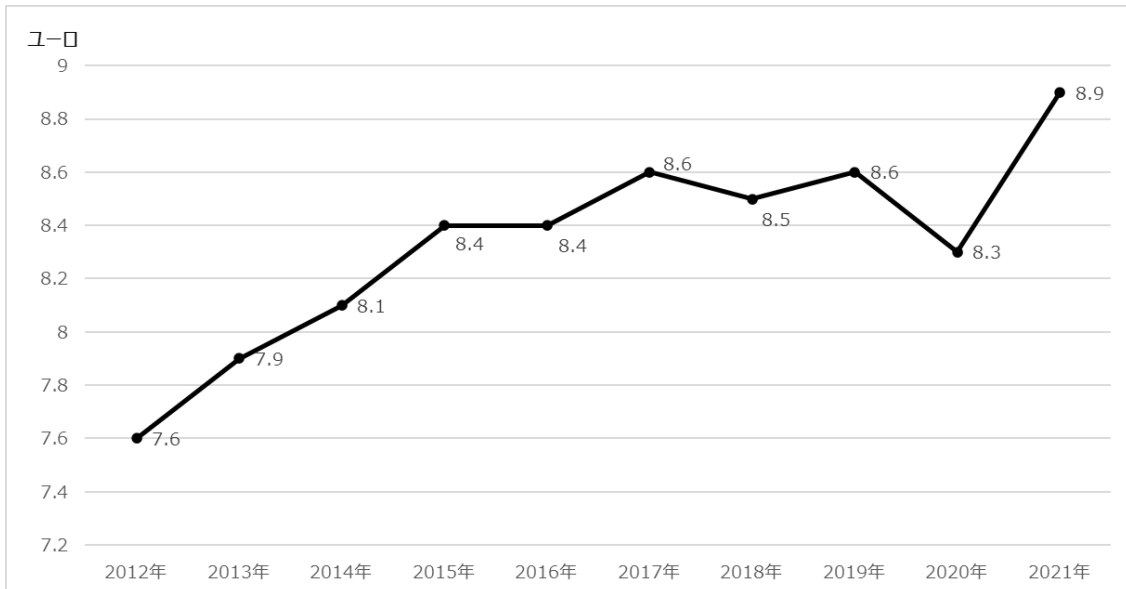
図 ドイツ国内のスクリーン数（グラフ）



4. 平均チケット価格（ユーロ）（2012-2021）⁴

*チケット価格は年々上昇しており、欧州の中でも高水準である。

図 ドイツ国内の平均チケット価格（グラフ）



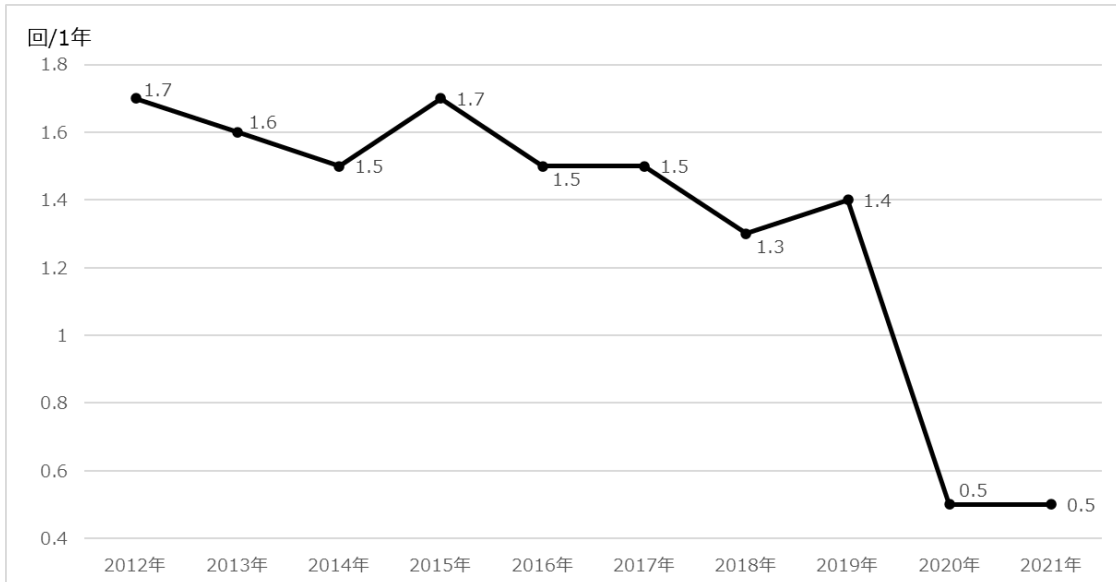
³ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成

⁴ 同上

5. 一人あたりの年間平均入場回数（2012-2021）⁵

* 欧州平均（2019年：2回）を下回って推移し、2020年から0.5回にまで落ち込んでいる。

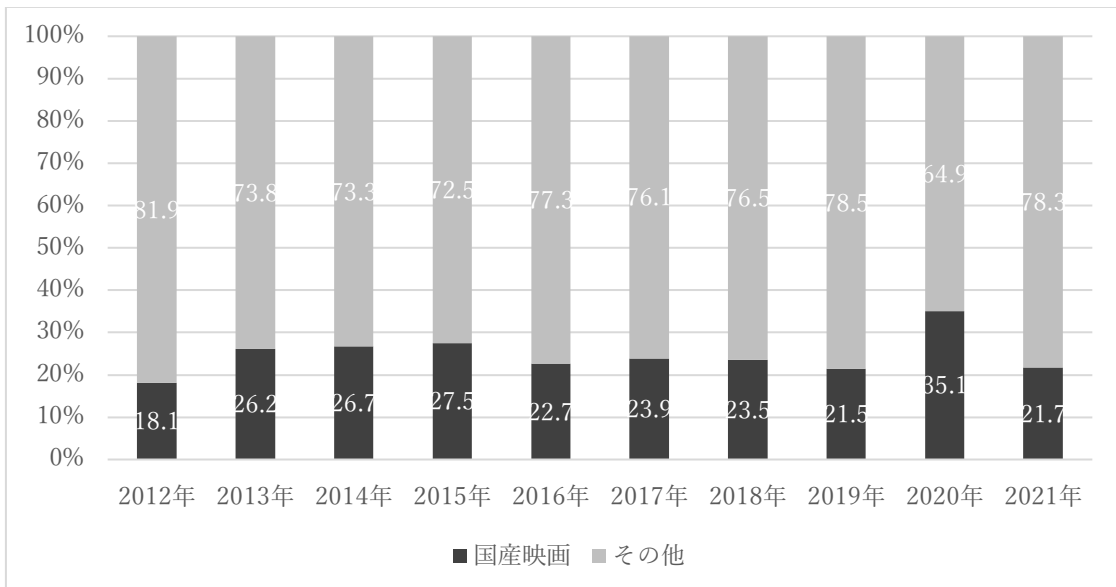
図 ドイツ国内の一人あたりの年間平均入場回数（グラフ）



6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2012-2021）⁶

* 国産映画の割合は減少傾向で2割強程度。

図 ドイツのマーケットシェアにおける国産映画の割合（グラフ）



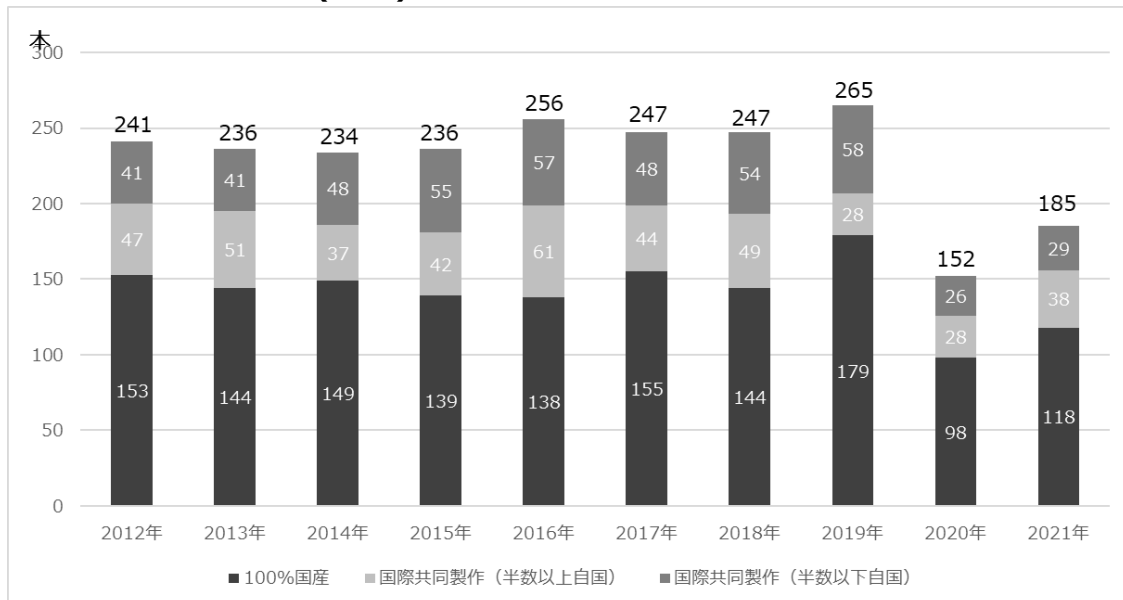
⁵ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成

⁶ 同上

7. 映画製作本数（2012-2021）⁷

* 製作本数は欧州 3 位の規模で、国際共同製作の割合は他国と比較しても高水準である。

図 ドイツの映画製作本数(グラフ)



⁷ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成